

SS202002

安齋 歩見 Anzai Ayumi

ヒーナッツ戦争#70

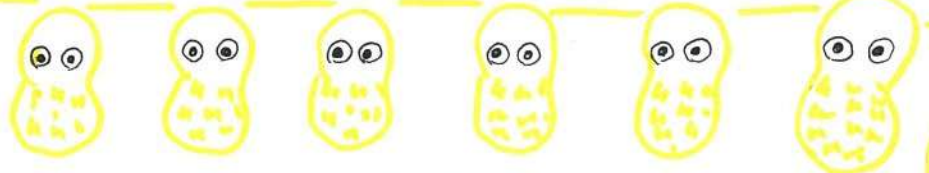
/40

リトグラフ、写真、写真制版 / 和紙

17.5 x 10.5 cm (変形)

「繁く」

について



2020年は「本来なら東京オリンピックが開催されたはずなのに」
「いつでも地元へ帰郷できたはずなのに」というような
「～できたはずなのに出来なかった」という事が多かった年でした。

4・5月の外出自粛からは、Zoomやslackを使い始めたり
人と対面しないで人と関わる方法を模索しながら働くという
チャレンジを世界中の人々がしていました。

対面できないからこそ、相手の意見を様々な角度から知るように
工夫したり、連絡する時間帯を気にかけたりという新しい風潮を
感じました。困っていることを解決するためにみんながそれぞれ
創意工夫をして過ごす。そんな日々がこれからも続くことは良いこと
だと思いました。

以前よりも政治を深く調べて随時状況を把握しておく大切さ。
Yahooニュースのトップ画面に出る項目の確認だけでは足りないということ。
例えば、自分の住んでいる選挙区の方が今どんな仕事に携わって
いるか、マスク2枚を配るメリットに対する世間の反応、#うちでおどろう
がなぜ炎上したのか、などしっかりと調べて考えるべきだということに
気づきました。

世界中がコロナと向き合って生活している毎日が普段の日常になりました。
近いうちにアートもアプローチの仕方が大きく変化していくはずで、
新しいアート作品に出会いたい。

私ならどんなアプローチをしていったらいいのだろう、そう思います。